

松戸市こども発達支援 パンフレット

～みんなで知ろう 発達の特徴～



電子版ダウンロード用QR

2026.7 第3版

みんなで知ろう

発達の特徴に関すること

近年、さまざまな情報が飛び交い
こどもの発達に関する
疑問や悩みが増えつつあります。
こうした中、誤解などを防ぐためには、
理解を深めることが大切であり、
周囲の理解とサポートが重要であることを
知っていただくことが必要です。
このパンフレットが発達の特徴がある方や
気になるお子さんのご家族、
支援者の方はもちろん、
広く市民の皆さんの理解の助けになれば幸いです。

目 次

ちょっと気になること.....	P 1
どんなことができるの.....	P 3
発達に関すること.....	P 4
支援を活用する.....	P 5
どこに相談すればいいの.....	P 6

お子さんのことで、気になること、 感じることはありますか？

～ほかの子と違うかも～



あなたのお子さんは
どうですか？
下のチェックリストを
ご相談のときの参考に
してください



- ☐目が合いにくい（目を合わせようとしない）
- ☐日常の会話でオウム返しが多い
- ☐お友だちに興味を持たず、自分の好きなことをしている
- ☐聞いていることに答えずに、一方的に話すので会話にならない
- ☐突然の出来事や新しい環境に混乱し、パニックになる
- ☐好きな遊びに没頭すると切り替えが難しい
- ☐身体をグルグル回したり、とびはねたり、手をヒラヒラさせるなどの動作を繰り返すことがある
- ☐急に機嫌が悪くなり、泣きわめいたり
かんしゃくをおこすことがよくある
- ☐食べ物の好き嫌いが激しい
- ☐特定の音に耳をふさいだり、抱っこされたりされ
ることをとても嫌がる
- ☐興味、関心に偏りがある



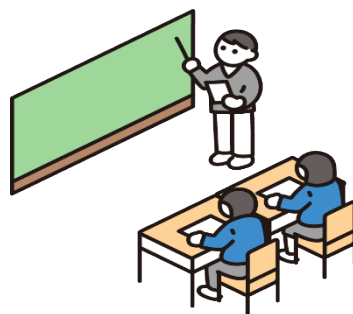
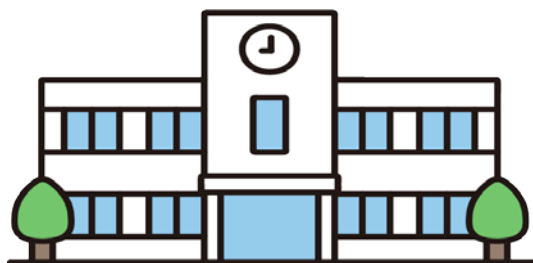
～ちょっと落ち着きがないかも～

- ☐ 落ち着きがなく、急に走り回ったりする
イスにすわっていることもにがて
- ☐ 高いところにのぼったり、危険なことを平気でする
- ☐ 質問を最後まで聞こうとしないで、答えてしまうことが多い
- ☐ 一つの遊びが長続きしないで、次々と遊びを変える
- ☐ 順番を守ったり、ルールを守ることができずにさわぐ
- ☐ 自分の思いどおりにならないと、人をたたいたり
けったり、物を投げたりする



～もうすぐ学校に入るのだけれど～

- ☐ 身体の動きがぎこちなく、体操やおゆうぎがにがて
- ☐ 聞き違いや聞きもらしが多い
- ☐ 自分の言いたいことを相手に伝えるのがとてもにがて
- ☐ 文字や数に興味を持たず、なかなか覚えられない
- ☐ 不器用で絵を描いたり、工作をすることがとてもにがて



どんなことができるようになるの？

～この表は平均的な発達を示したものです～

あくまでも
発達の目安として
考えてください



	6か月～1歳	1歳～2歳	2歳～3歳	3歳～4歳	4歳～5歳	5歳～6歳
運動	・座る ・立つ	・歩く	・手すりを持って階段を上る	・前転ができる	・片足とびができる	・なわとびが跳べる
ことば	・バイバイと言うと手をふる ・ダメと言うと手を引っ込める	・欲しいものの名前を言って伝える ・簡単な指示がわかる	・大きい小さいがわかる ・二語文で話す (例・わんわん、いた)	・色の名前を言える ・熱い、冷たいなどを使って話す	・前後左右がぼぼわかる ・経験したことを話す	・「どうして？」と聞くと理由を答える ・じゃんけんの勝敗がわかる
人との関わり	・人への関心を示す ・イナイナイバーを喜ぶ	・関心のあるものを指差して伝える ・人のマネをしたがる	・ケンカをすると大人に言いつけに行く	・順番を守って遊ぼうとする ・同年齢の友達とゴッコ遊びをする	・同年齢の友達と役割を決め、協力して遊ぶ	・テーマにそって会話する ・ルールのある遊びを楽しむ
学習の基礎	・絵本などの絵をじっと見る ・おもちゃを隠すと探す	・なぐり書きをする ・簡単な型はめパズルをする	・たて線、横線、丸を書く ・同じ絵をあわせる	・クレヨンで塗る ・ハサミで直線にそって切る	・6までの数字がわかる ・曲線をハサミで切る	・自分の名前を書く ・三角を書く ・ひらがなを読んで意味が分かる
生活習慣	・コップから飲むようになる	・スプーンで食べようとする ・帽子を自分でぬぐ	・靴や靴下をはく ・排せつを知らせる	・簡単な着脱ができる ・歯磨きを自分でする	・ファスナーやボタンの着脱ができる ・顔や体を自分で洗う	・簡単な料理の手伝いをする

発達に関すること

人は成長していく過程で様々な発達をしていきますが、脳の認知機能の偏りによって特徴的なとらえ方や行動が現れる場合があります。このような偏りや特徴による脳機能の発達に関係する障害を、発達障害と言います。

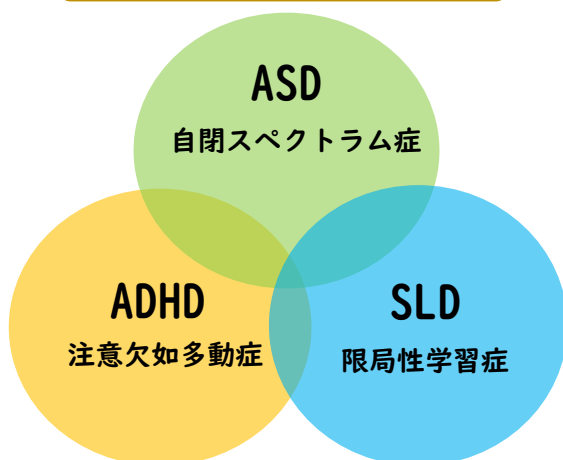
誰しも得意(凸) 不得意(凹)はあるものですが、その凹凸の差が大きく、不適応(環境とのミスマッチ)が生じているということなので、「発達障害は欠点だ」と決めつけるものではありません。

また、代表的な発達障害に「自閉スペクトラム症(ASD)」「注意欠如多動症(ADHD)」「限局性学習症(SLD)」がありますが、「広汎性発達障害」や「複数の特性が見られる」と診断がされる場合もあります。

グレーゾーンへの支援の必要性

「発達障害の特性が見られるものの、診断基準には満たない」という意味でグレーゾーンという言葉が用いられることもあります。グレーゾーンの人も、周りの環境への適応に困っている場合、何らかの支援が必要です。

おもな発達障害とその特徴



ADHD

多動性は、落ち着きがない、しゃべりすぎる、他人の会話に割り込むなどの行動が見られます。

不注意の症状は、ミスが多い、集中し続けることができない、計画的に物事を進められない、忘れ物や紛失が多い、気が散りやすい、などがあります。

ASD

コミュニケーションの場面で、言葉や視線、表情、身振りなどを用いて相互的にやりとりをしたり、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを読み取ったりすることが苦手です。また、特定のことに強い関心をもっていたり、こだわりが強かったりします。また、感覚の過敏さや鈍感さを持ち合わせている場合もあります。

SLD

全般的な知的発達には問題がないのに、読む、書く、計算するなど特定の学習のみに困難が認められる状態をいいます。

学習障害は、気づかれにくい障害でもあります。子どもにある困難さを正確に把握し、決して子どもの怠慢さのせいにならないで、適切な支援の方法について情報を共有することが大事です。



ひとりで悩まず、支援を活用する



外見からは障害があることがわかりづらい発達障害。本人はもちろんのこと、その家庭にしか分からない悩みがあります。周囲に相談もできず「自分の育て方が良くないのか」と悩む保護者の方も少なくありません。一人で悩まず専門機関に頼ることも大切です。また、家族がこどもの特性を理解し、その特性を踏まえて接するのもポイントです。

得意を理解し伸ばせば、可能性が広がる



発達障害は苦手なことに目が向きがちですが、得意なことも多くあります。みんながその特性を理解し、周りから適切なサポートを受けることで、本来持っている能力が引き出される可能性があります。例えば仕事でも作業内容や環境が自身と合っていれば、力を発揮できるケースもあります。「集団の中で話すことは苦手だが、1対1で話すことはできる」「異なる作業を同時に進めるとパニックになるけれど、一つ一つ丁寧に取り組むことは得意」など苦手・得意を把握することで活躍できる場面が生まれ、自信にもつながります。

・ ・ 理解不足が生む二次障害 ・ ・

不適切な対応が招く二次障害

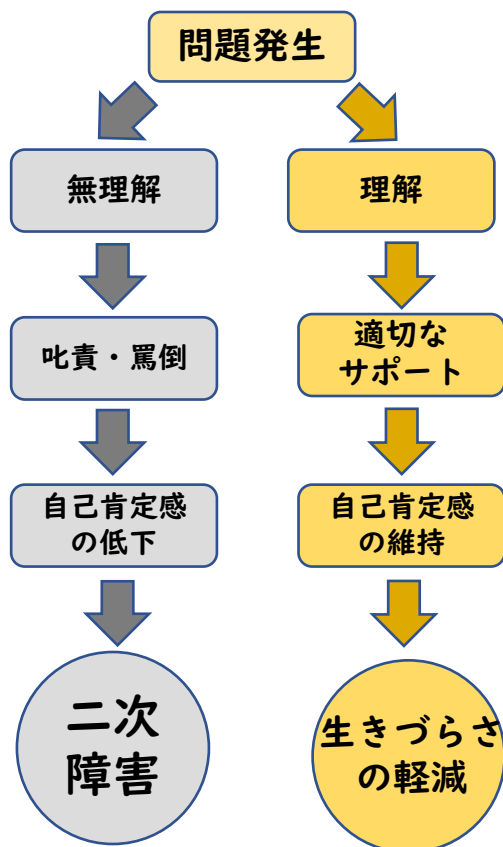
発達障害があると、失敗したり怒られたりすることがどうしても多くなり、幼稚園や保育園、小学校入学以降や思春期には学校生活や友人関係でトラブルも目立ち始めます。適切な対応がされず、自尊心や自己肯定感が上手く育まれないと、不登校やひきこもりといった別の問題につながるケースがあり、「二次障害」と呼ばれます。

二次障害は防げる

二次障害は家族や周囲の関わり方によって未然に防ぐことができます。

そのためにも、特性を理解した上での関わりが重要であり、将来の社会的自立にもつながります。

・ ・ 起因する問題 ・ ・



どこに相談したらいいの？



相談窓口の連絡先

相談窓口	主な業務内容	住所	電話番号
発達支援担当室 こども発達相談窓口 「みらいのとびら」	お子さんの発達に関する相談を受付けています。	松戸市根本387-5 松戸市役所 新館9階	(047) 366-5181
こども発達センター	心身の発達に不安や心配のあるお子さんご家族を支援します。各種専門のスタッフが未就学のお子さんの療育および保護者支援を行っています。	松戸市五香西 3-7-1 健康福祉会館 (ふれあい22)2階	(047) 383-8111
中央基幹相談支援 センターCoCo	障害のあるお子さん（疑いも含む）とその家族が抱えている不安や課題などをお聴きし、一緒に解決するための支援を行います。	松戸市上矢切 299-1 総合福祉会館2階	(047) 308-5028
常盤平基幹相談支援 センターふれあい		松戸市五香西 3-7-1 (ふれあい22)1階	(047) 388-6225
小金基幹相談支援 センターおんぷ		松戸市小金 442-14 秋山ビル3階	(047) 712-2112
中央保健福祉 センター	市内3か所にある保健福祉センターと親子すこやかセンターでは、ご相談の内容に応じて、担当者が、妊娠期から電話や面談、家庭訪問等を行っています。体調や心配ごとをお伺いして、安心して子育てをスタートできるようお手伝いをしています。	松戸市竹ヶ花74-3 中央保健福祉センター1階	(047) 366-7489
小金保健福祉 センター		松戸市小金2 ピコティ西館3階	(047) 346-5601
常盤平保健福祉 センター		松戸市五香西 3-7-1 (ふれあい22)2階	(047) 384-1333
障害福祉課	相談、各種手当、給付、医療費助成、手帳申請、障害福祉サービス、権利擁護に関することなど。	松戸市根本387-5 松戸市役所 新館3階	(047) 366-7348
児童生徒課	小中学校と次年度就学のお子さんの学校生活で心配事がある保護者の相談予約を受け付けています。お子さんの「発達が心配」「言葉が不安」「学校に行き渋る」「不登校」などについて、相談ができます。	松戸市根本356 京葉ガスF 松戸ビル6階	相談予約 受付 (047) 366-7600
特別支援教育課	障害のある、またはあるかもしれないお子さんの就学に関する相談や、特別支援教育全般に関する相談を受付けています。	松戸市根本356 京葉ガスF 松戸ビル6階	(047) 703-7098
柏児童相談所	18歳未満の子どもに関するあらゆる問題について、子どもや保護者などからの相談に応じ、それぞれの子どもや保護者に最も適した援助や指導を行う行政機関です。	柏市根戸445-12	電話相談 (04)7134-4152

松戸市ライフサポートファイルのご案内

●ライフサポートファイルって？

お子さんの生活の様子や、見守っている方々からの情報を、保護者の方が記録したり、書類を挟み込んだりしていきます。お子さんのことで相談に行くときにライフサポートファイルを見せることで、今までの経過が伝わりやすくなり、より良い支援につながります。

こんなメリットが！

- ◎ファイル形式で大事な書類をまとめて保管できる
- ◎こどものことを聞かれるたび、何回も同じことを説明しなくていい

Q&A

Q.いつから持ったらいいの？

A.いつからでも！お子さんのことで支援を必要と感じたときがスタートです。
何歳からでも作成できます。

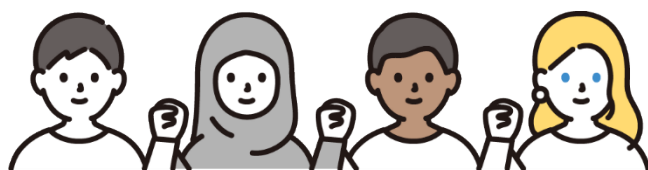
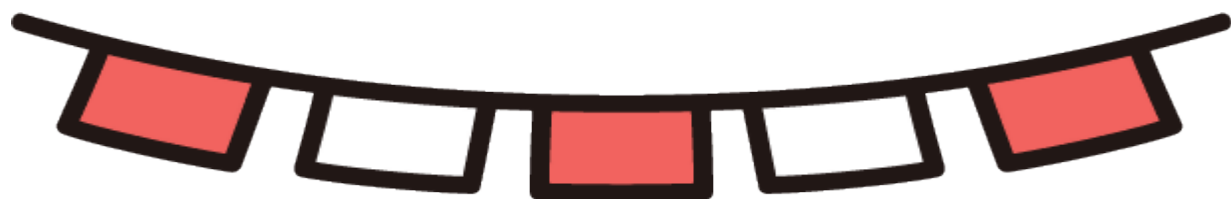
Q.どうやって作るの？

A.基本的には保護者の方が記入するものですが、必要なところ、書けるところから始めてみてください。何を書いたら良いのか、迷うところは障害福祉課に相談してみてください。

お問い合わせ先

松戸市障害福祉課 047-366-7348





発行 松戸市子ども部子ども政策課発達支援担当室
〒271-8588
千葉県松戸市根本387番地の5
松戸市役所新館9階
電話 047-366-5181
メール mchattatsu@city.matsudo.chiba.jp

発行日 令和8年7月1日

